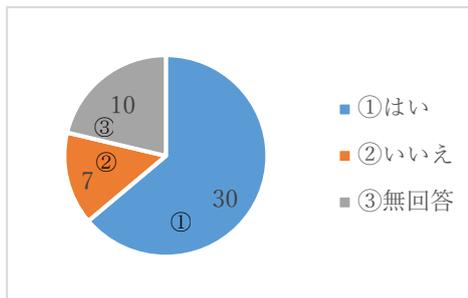


問1 後期高齢者歯科口腔健康診査について、知っていましたか？

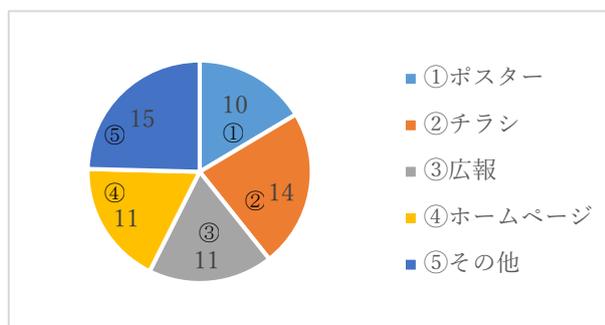
①はい	30
②いいえ	7
③無回答	10



問2 問1で「はい」と答えた方にお聞きします。
後期高齢者歯科口腔健康診査について、何で知りましたか？

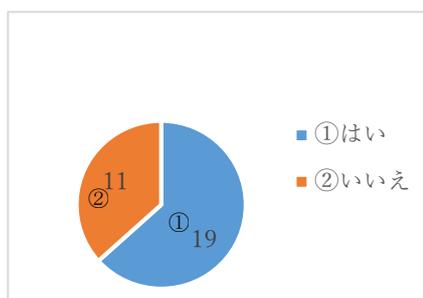
①ポスター	10
②チラシ	14
③広報	11
④ホームページ	11
⑤その他※	15

※業務として等



問3 問1で「はい」と答えた方にお聞きします。
後期高齢者歯科口腔健康診査について、周知をすることがありますか？

①はい	19
②いいえ	11

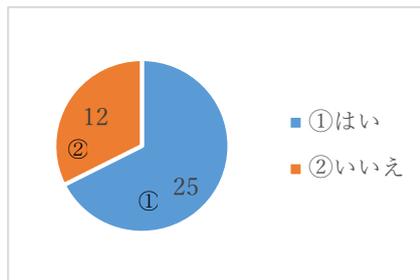


問4 問3で「はい」と答えた方にお聞きします。 周知方法と周知時期についてお教えてください。

周知方法	時期
診療所内ポスター、講話及び会議（地域歯科保健事業）	通年
介護予防把握事業による高齢者訪問時、チラシ持参にて個別案内	随時
サロン等の健康教育、広報	年間

問5 予防歯科やオーラルフレイルの向上の重要性について、周知をすることはありますか？

①はい	25
②いいえ	12



問6 問5で「はい」と答えた方にお聞きします。周知方法と周知時期について教えてください。

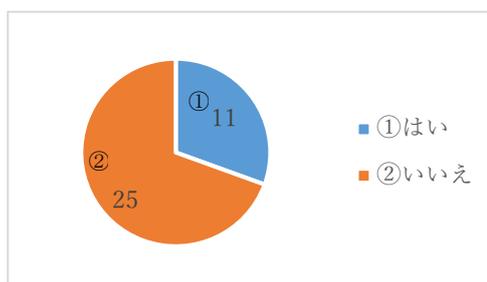
周知方法	時期
院内掲示、口頭説明	必要な時いつでも
利用者宅訪問時、家族介護予防教室や出張相談会等	随時
健康診査後の健診結果説明会で説明	6～1月

問7 コロナ禍での歯科口腔健康診査等の周知について、変化したことはありますか？工夫していること又は工夫したらいいと思われることを教えてください。

- ・自治体広報に記事掲載、介護予防事業のイベント、集まり、教室があるときに周知を図る
- ・テレビを見る時間が長いのでCM等でPRする
- ・ワクチン接種会場や公民館、集会所等地域住民の目に触れる場所でのポスター掲示、チラシの配布等
- ・健診結果や介護保険の通知に歯科健診の案内チラシを同封する等、対象者の関心の高いと思われる通知とあわせて周知すると目にとまるのではないかと
- ・感染予防のため、待合等に置いていたチラシやパンフレットを撤去している場所（医療機関等）がある
- ・教室等の開催が中止となり周知の機会が減った

問8 コロナ禍以降、予防歯科やオーラルフレイルについて、歯科口腔に対する意識が変化したと思われますか？

①はい	11
②いいえ	25



問 9 問 8 で「はい」と答えた方にお聞きします。どのように変化したか教えてください。

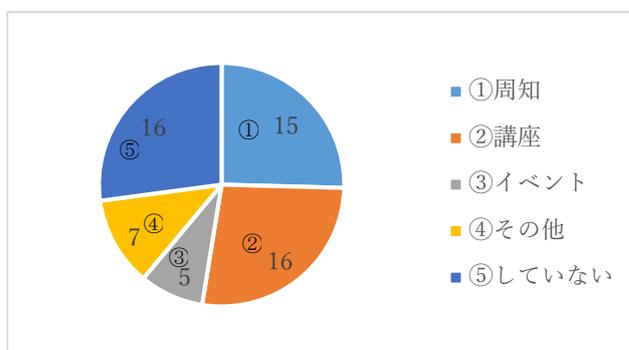
- ・歯磨きをする回数が以前より増えた(毎食後する・洗浄液の使用・舌磨き等)
- ・感染予防のため口腔ケアについての相談が増えた
- ・不要不急と言われていた歯科受診が口腔ケアによって口のウイルスが減り、感染予防になると言われて、歯科受診者がまた戻ってきた
- ・コロナ禍以降の歯科口腔に対する意識の追跡調査もしておらず、数値的变化は不明
- ・外出や交流の機会が減ったことで意欲も低下し、定期受診を控える人が出てきた

問 1 0 歯科口腔に関する事業等で実施していることはありますか？

※複数回答可

①周知	15
②講座	16
③イベント	5
④その他※	7
⑤していない	16

※委託事業としての保健事業



問 1 1 問 10 で①～④と答えた方にお聞きします。実施内容と実施時期について教えてください。

実施内容	実施時期
講演、診療所内ポスター	随時
地域歯科保健事業で歯科に関わる講座やフレイルチェック及び口腔機能向上に向けての取組等	随時
通所介護や訪問介護事業所の職員及び介護支援専門員を対象とした、口腔ケアや服薬管理についての研修会を実施予定	R4.1月(予定)
市独自の口腔体操を考案し、パンフレットやDVDを作成した。DVDはケーブルTVでの定時放映と市ホームページで動画配信を行った。健康イベントで、歯科医師会の協力を得て、お口の健康相談ブースを設け、口腔機能チェックや、歯科衛生士等による健康相談を実施した。	随時 パンフレット全戸配布：4月広報 DVD放映：6月～

問 1 2 予防歯科やオーラルフレイル意識を高め、歯科口腔健康診査受診を促すためにどのようなことが必要だと思いますか？

- ・ 小学校教育の保健で歯科口腔健診の重要性を教える
- ・ 医科歯科連携、多職種連携、医療機関の意識変革（治療後の定期受診の予約や案内等）
- ・ 職場の健診で必須項目にするなど
- ・ お口の状態や口腔機能維持のポイントの意識づけ
- ・ 歯科口腔健康診査受診手続きの多様化（WEB 申請等）
- ・ 後期高齢者医療広域連合、市町後期高齢者医療担当、保健部門担当、介護担当、地域包括支援センター担当との一体的な協力
- ・ 地区別住民対象の講習会の開催や、公民館や集会所、スーパー等出張相談会の実施
- ・ 広報やメディア、はがき等など様々な媒体による周知
- ・ レセプトから対象者として該当する人に直接郵送の形が受診率向上につながる
- ・ コロナ禍で参集しての事業の実施を見合わせているため、周知は難しい

問 1 3 後期高齢者歯科口腔健康診査の事業周知で協力していただけることはありますか？

- ・ 市広報での告知やポスター展示、啓発、チラシの配布
- ・ 介護や医療従事者向けの研修の企画を行うことが出来る

問 1 4 予防歯科やオーラルフレイル意識の向上のために有効と思われる取り組みについて教えてください。

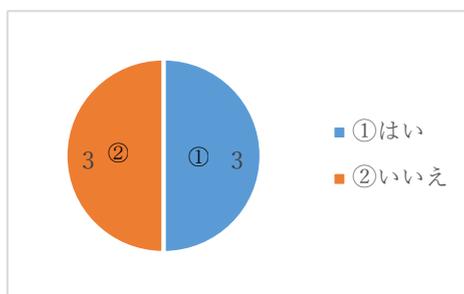
- ・ 医科との連携や、歯科医師会で会員に対する講演、実習を実施することで、歯科医師の意識が高められ、一般高齢者の意識の向上に寄与すると思う
- ・ 各種集まりへ出張講話、広報やメディアなどによる周知の徹底
- ・ 予防歯科は受診義務にするなど若い年代からの強い意識付けが必要
- ・ 健康診査と口腔歯科健康診査のダブル健康診査の実施（市町集団健診会場での実施）
- ・ 市町単位でなく、県単位での一体的な取り組みができるとよいのではないかと

問 1 5 歯科口腔健康診査時や保健指導時のコロナ感染リスクとその対応について

リスク	対応
飛沫、エアロゾルからの感染	フェイスシールド等の着用、検査後のチェアの清掃、消毒の徹底、診査前の薬液うがい、診査事項の変更
感染の媒介になりうる	スタンダードプリコーションでの対応
唾液、血液を扱うこと	コロナに関わらず普段から感染予防は十分にしているもので、特別なことはない

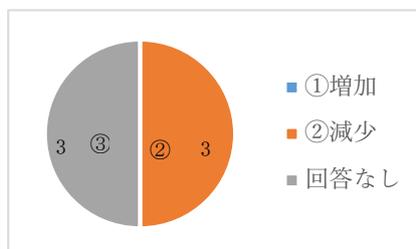
問 1 6 コロナ禍以降、歯科医院への通院頻度は変わりましたか？
(変わったように思われますか？)

①はい	3
②いいえ	3



問 1 7 問 16 で「はい」と答えた方にお聞きします。通院頻度の増減について教えてください。

①増加	0
②減少	3
③回答なし	3



<理由>

- ・ 歯科医院受診に限らず、全体的に住民の外出が減っている。
- ・ 感染リスクが高いと思われる。

まとめ

歯科口腔健康診査を知らないと解答した機関が全体の1割より多く、まだ周知が足りていないということが分かりました。

コロナ禍により各種イベントや教室等での周知は難しいところもありますが、歯科健康診査の周知について積極的な回答が多くあり、回答いただいた皆様の状況やご意見を反映し、今後に役立てて参ります。アンケート回答にご協力いただいた皆様ありがとうございました。